

エコアクション21

環境経営レポート

令和6年度版（令和6年4月～令和7年3月）



令和7年5月9日発行

目次

環境経営方針.....	2P
1. 事業の概要.....	3P
2. 組織図及び認証・登録範囲（認証・登録範囲は以下のとおり）.....	4P
3. 当年度及び中期環境経営目標.....	5P
4. 当年度の主要な環境経営計画.....	6P-7P
5. 目標と実績.....	8P
6. 環境経営計画の取組結果とその評価.....	9P-14P
7. 次年度の取組内容.....	15P
8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無.....	15P
9. 代表者による全体評価と見直しの結果.....	15P
10. 優良産廃処理業者認定制度・情報公表項目.....	16P



環境経営方針

基本理念

市川産業株式会社は、一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬という環境事業を安全・丁寧かつ効率的に行います。又、弊社業務の中で発生する環境負荷の低減に努めます。

行動指針

1. 具体的に次の事に取り組みます。
 - ① 収集運搬車などの燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の維持
 - ② 電力使用に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ③ 水使用量の削減
 - ④ コピー用紙などの資源消費の削減
 - ⑤ 環境関連法規や地域との協定を遵守します。
 - ⑥ 地域社会におけるボランティア活動に積極的に参加し、町美化に貢献します。
 - ⑦ この環境方針を全従業員に周知し、一丸となって環境保全活動に取り組みます
 - ⑧ 環境経営の継続的改善を誓約します。

制定日：平成26年10月1日

改定日：令和3年4月1日

市川産業株式会社

代表取締役 市川洋介

1. 事業の概要

事業所名 市川産業株式会社
法人設立日 昭和43年 11月 1日
資本金 2000万円
代表者名 市川 洋介



所在地 北九州市八幡東区前田二丁目12-13 (本社)
北九州市八幡東区春の町五丁目5-20 (春の町車庫センター)
北九州市八幡西区小鷺田町1番1 (引野車庫センター)

連絡担当者名 市川 洋介 (代表取締役)

連絡先 TEL 093-661-8020
FAX 093-661-5455
E-mail mail@ichikawa-sangyo.co.jp

事業の内容 一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬

事業の規模

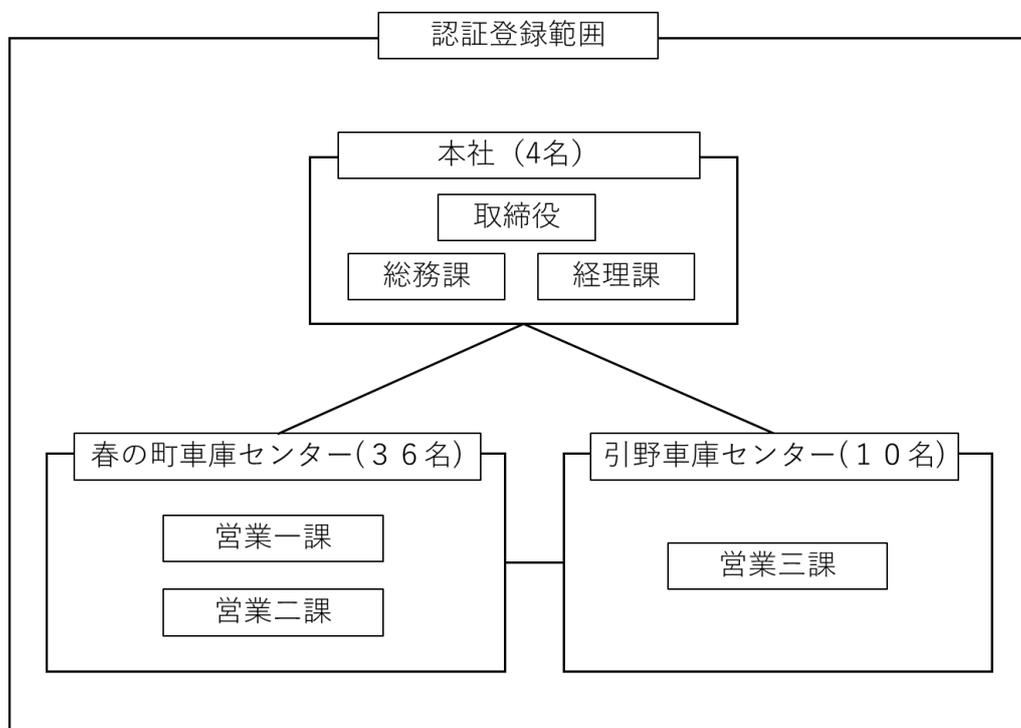
	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
売上高		区分A	区分A	区分A
従業員数	人	48	50	50
本社面積	m ²	110	110	110
春の町車庫面積	m ²	355	355	355
引野車庫面積	m ²	1053	1053	1053

※売上高「区分A」：売上高が5億円未満の場合の記載区分

事業年度 4月1日～翌年3月31日
(今回の活動レポートの対象期間は、令和6年4月～令和7年3月)

認証・登録 全組織・全活動

2. 組織図及び認証・登録範囲（認証・登録範囲は以下のとおり）



役割分担表

氏名	所属（役職）	役割・責任・権限・使命
市川 杉本	代表者 副代表者	全体の統括、環境方針の設定、全体の評価と見直し
古賀	環境管理責任者	環境経営システムを構築し、運用し、その状況を代表者に報告する。
生見 森岡 岡本	収集運搬部門	収集運搬部門におけるE A 2 1の遂行を統括する。
須田	事務部門	事務部門におけるE A 2 1の遂行を統括する。

3. 当年度及び中期環境経営目標

項目	単位	(基準) R5年度 実績	目 標			
			R6年度	R7年度	R8年度	
二酸化炭素 排出量の削減	kg-CO ₂	354,203	354,203 ±0%	354,203 ±0%	354,203 ±0%	
二酸化炭素排出量 関連項目	電気使用量の 削減	kWh	26,021	25,891 -0.5%	25,761 -1.0%	25,631 -1.5%
	灯油使用量の 削減	ℓ	76.0	75.6 -0.5%	75.24 -1.0%	74.86 -1.5%
	ガソリン使用 量の削減	ℓ	10,814	10,814 0.0%	10,814 0.0%	10,814 0.0%
	軽油使用量の 削減	ℓ	120,576	120,576 0.0%	120,576 0.0%	120,576 0.0%
	都市ガス使用 量の削減	m ³	4.0	4.0 0.0%	4.0 0.0%	4.0 0.0%
廃棄物の排出量削減	ton	1.132	1.126 -0.5%	1.121 -1.0%	1.115 -1.5%	
総排水量 (使用水量)の削減	m ³ /人	11.36	11.36 ±0.0%	11.36 ±0.0%	11.36 ±0.0%	
消耗品購入の 削減	コピー用紙	枚数	82,500	81,675 -1.0%	80,850 -2.0%	80,025 -3.0%
	プリンター インク	個数	109	108 -1	107 -2	106 -3
	トナー カートリッジ	個数	17	17 ±0%	17 ±0%	17 ±0%
	ボールペン	本数	20	19 -1	18 -2	17 -3
化学物質の 使用量の削減	取扱いはありません					
ボランティア清掃	実施 回数	4回/月	4回/月	4回/月	4回/月	

※電気の二酸化炭素排出係数は、九電の平成2020年度の排出係数(0.479kg-CO₂/kWh)を用いた。

4. 当年度の主要な環境経営計画

4-1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電力使用量の削減

- ・エアコンの設定温度を決め、実行する。
- ・昼休みの消灯
- ・残業時の不要な照明の消灯
- ・長時間席を離れる時、パソコンの電源OFF
- ・高効率蛍光灯、インバーター照明機器の導入

(2) 灯油使用量の削減

- ・暖房温度の適正管理
- ・部屋をしばらく空ける時は、スイッチを切る。

(3) ガソリン使用量の削減

- ・省エネドライブの励行
- ・配車計画の合理化
- ・アイドリングストップの励行

(4) 軽油使用量の削減

- ・省エネドライブの励行
- ・配車計画の合理化

(5) 都市ガス使用量の削減

- ・給湯機等の効率使用

4-2. 廃棄物排出量の削減

(1) 廃棄物削減

- ・廃棄物の分別実行（可燃物・缶瓶ペットボトル・古紙）
- ・コピー用紙の再使用・リサイクル

4-3. 水使用量の削減

(1) 節水活動

- ・手洗い、トイレの節水
- ・洗車時の節水

4-4. 消耗品購入削減

(1) ペーパーレス化

- ・コピー用紙の削減
- ・プリンターインクの削減
- ・トナーカートリッジの削減
- ・ボールペンの削減

4-5. ボランティア清掃

(1) 近隣の清掃活動を自主的に行う

- ・会社周辺及び近隣の清掃活動を自主的に行う。



5. 目標と実績

・令和6年度4月～3月の目標に於ける実績は以下の通りであった。

項目	単位	(基準) R 5 年度	目 標	実 績	達成率
			R 6 年度	R 6 年度	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	354,203	354,203 -0.0%	356,705	99.2%
二酸化炭素排出量関連項目	電気使用量の削減	kWh	26,021 -0.5%	22,244	116.3%
	灯油使用量の削減	ℓ	76.0 -0.5%	112.0	67.5%
	ガソリン使用量の削減	ℓ	10,814 -0.0%	10,476	103.2%
	軽油使用量の削減	ℓ	120,576 -0.0%	122,479	98.4%
	都市ガス使用量の削減	m ³	4.0 -0.0%	11.0	36.3%
廃棄物の排出量削減	ton	1.132	1.126 -0.5%	0.990	113.7%
総排水量（使用水量）の削減	m ³ /人	11.36	11.36 -0.0%	11.46	99.1%
消耗品購入の削減	コピー用紙	枚数	82,500 -1.0%	76,500	106.7%
	プリンターインク	個数	109 -1	106	101.8%
	トナーカートリッジ	個数	17 -0.0%	21	80.9%
	ボールペン	本数	20 -1	10	190.0%
化学物質使用量の削減	取扱いはありません				
会社周辺の清掃	実施回数	4回/月	4回/月	4回/月	100.0%

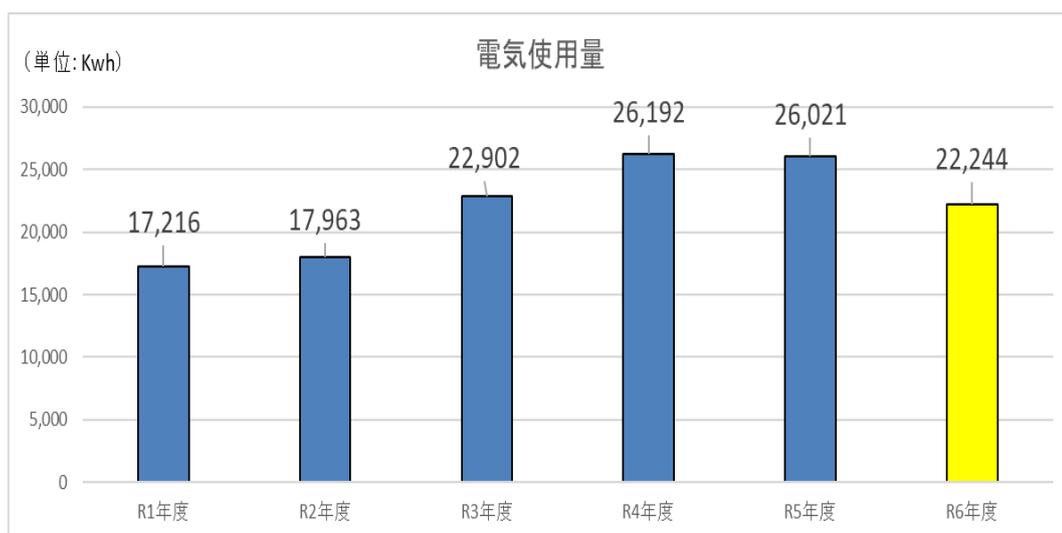
※電気の二酸化炭素排出係数は、九電の2020年度の排出係数（0.479kg-CO2/kWh）を用いた。

6. 環境経営計画の取組結果とその評価

6-1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の削減

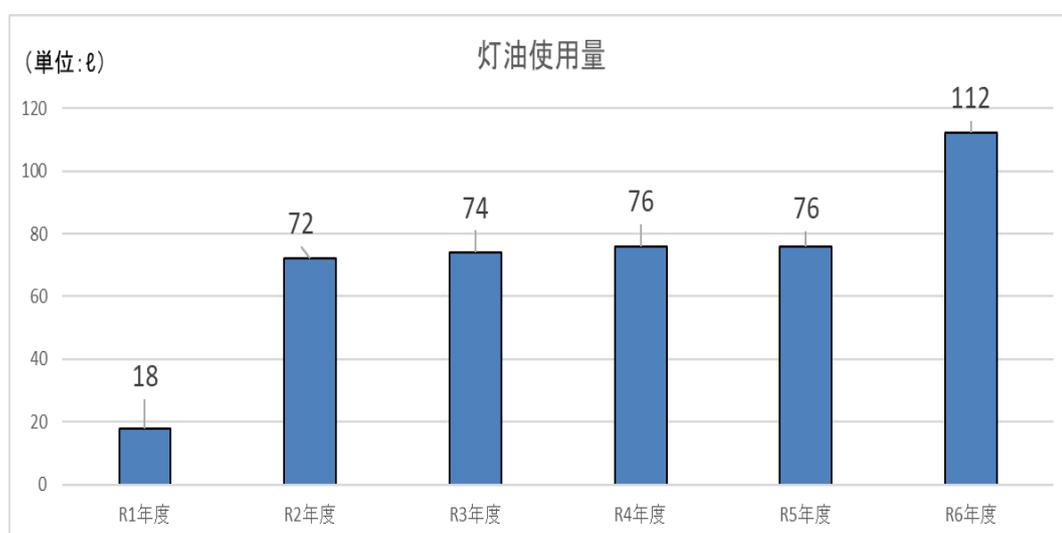
- ・本年度の使用量は22,244Kwh（目標値25,891kwh）で、目標達成率が116.3%だった。前年の数値を大きく下回った。引き続き、不必要な消費は控えて削減に努めていく。始業時間前の車庫開放時間を遅らせ、前年度より出庫前の車庫待機時間が短くなったことが、電気使用量の削減に繋がったと考える。



※令和3年11月に事業所が1か所増えた為、電気量が増加している。

(2) 灯油使用量の削減

- ・本年度の使用量は112ℓ（目標値75.6ℓ）で、目標達成率は67.5%だった。前年の数値を下回ることが出来なかった。

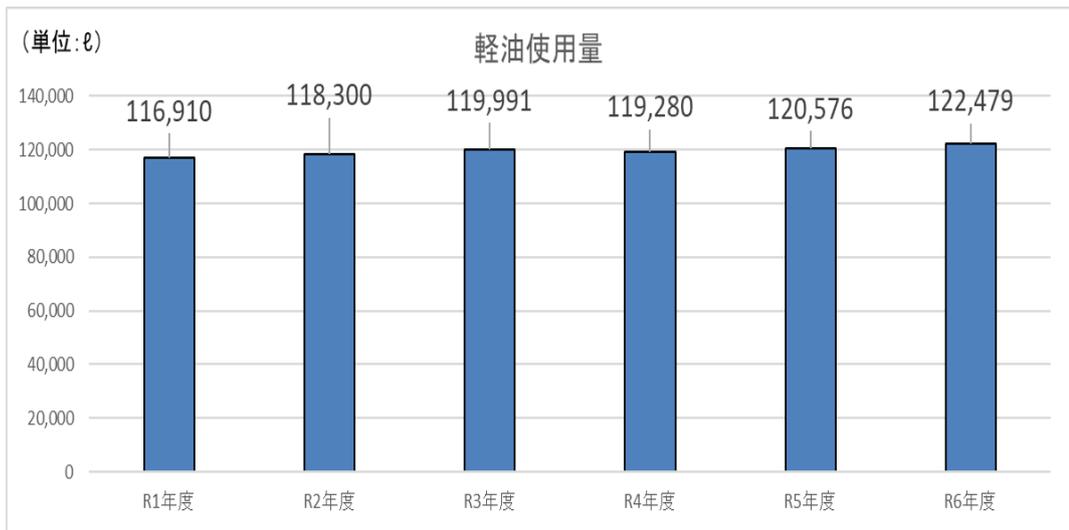
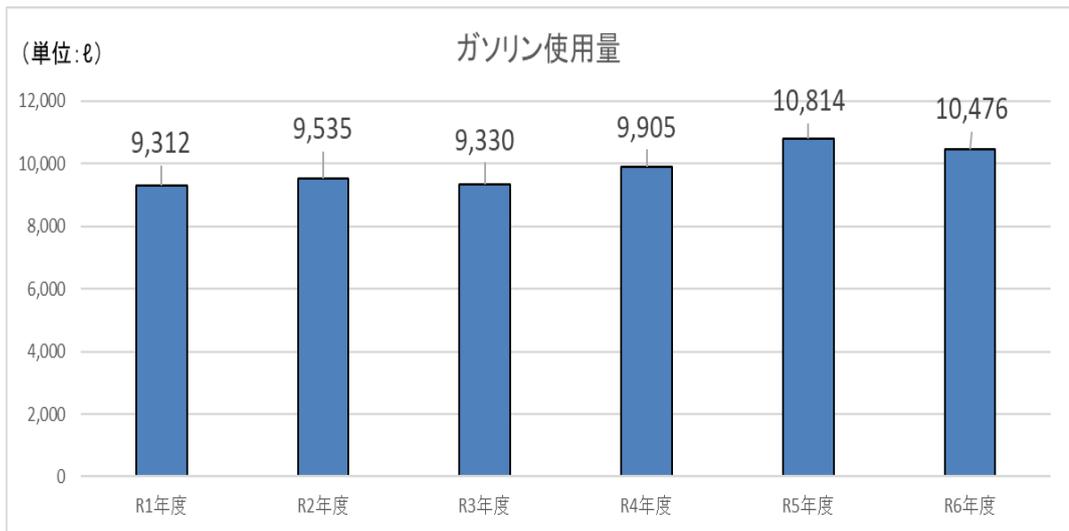


(3) ガソリン使用量 / 軽油使用量の削減

・本年度のガソリン使用量は10,476ℓ(目標値10,814ℓ)で、目標達成率は103.2%だった。

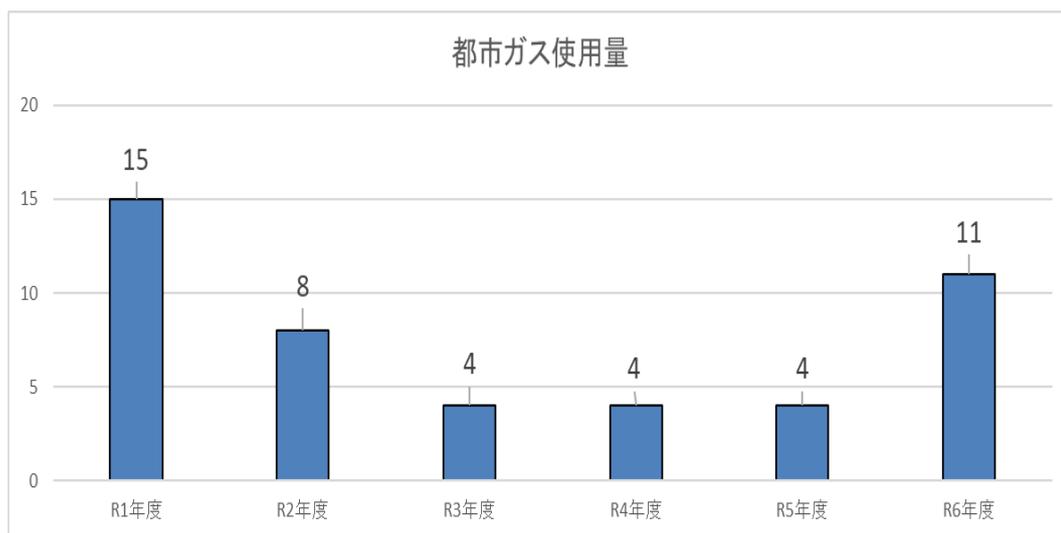
本年度の軽油使用量は、122,479ℓ(目標値120,576ℓ)で、目標達成率は98.4%だった。

令和5年の10月より、塵芥車稼働台数が1台増加したことと、稼働車両の2割の1日あたりの走行距離が増えたことにより(搬入工場の変更により)、軽油の削減が出来なかった。



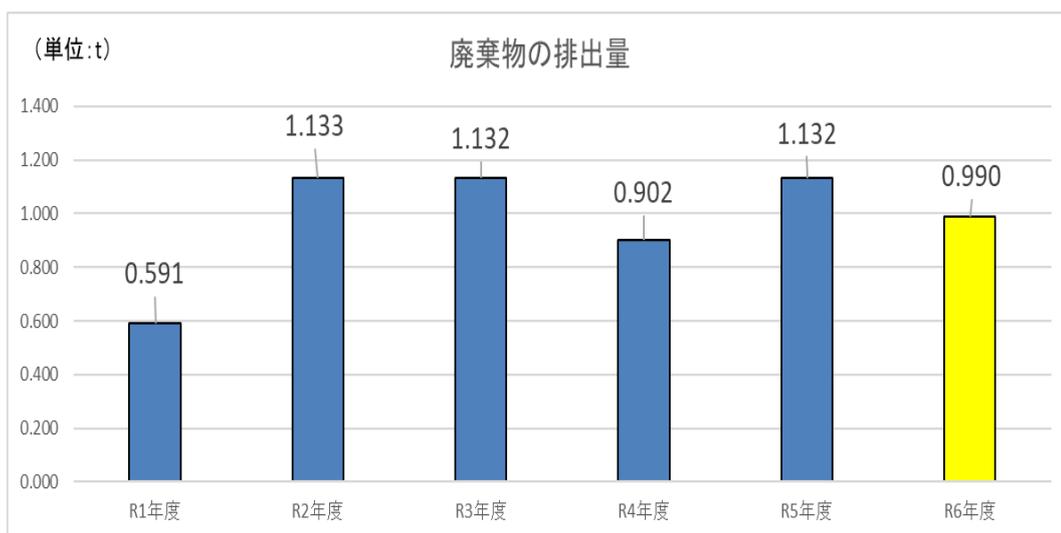
(5) 都市ガス使用量の削減

- ・本年度の使用量は 11 m³ (目標値 4 m³) で、目標達成率は 36.3% だった。
夏季だけお湯を沸かしアイスコーヒー作っていたが、本年度は一年通して作った結果、ガス使用量が増加してしまった。
給油機等の効率的な使用を心掛けて、今後も消費抑制を行う。



6-2. 廃棄物排出量の削減

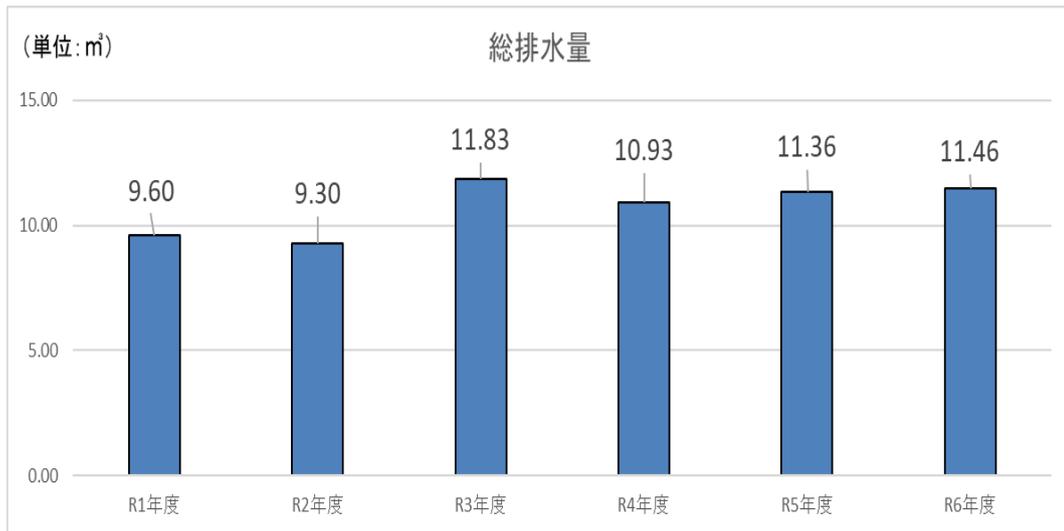
- ・本年度の排出量は 0.990 t (目標値 1.126 t) で、目標達成率は 113.7% だった。
無駄なごみを排出しないように、3Rを効果的に実践し、今後も継続して削減に取り組む。



※令和2年度より、感染症対策の消耗品(マスク等)の影響もあり、排出量が増加している。

6-3. 総排水量の削減

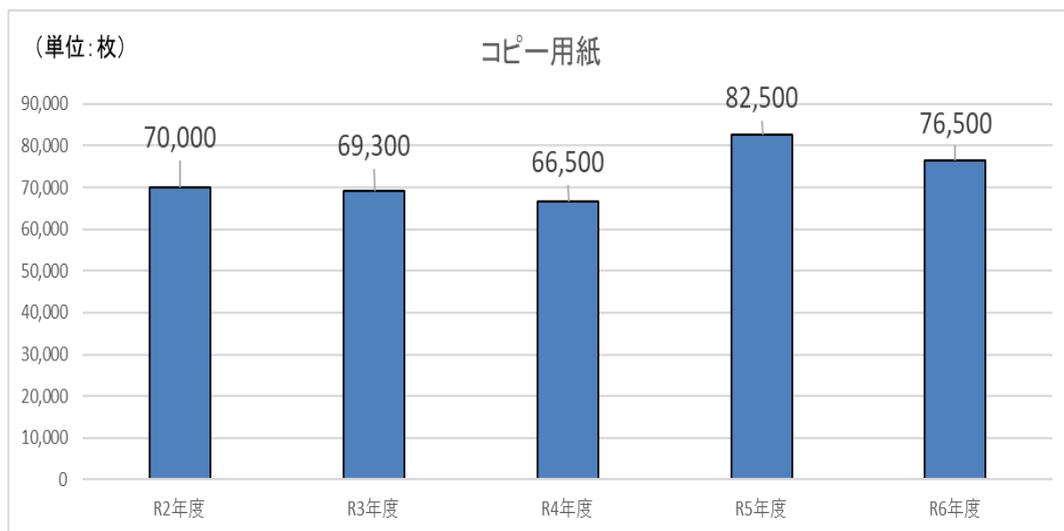
- ・使用量は11.46 m³/人（目標値 11.36 m³/人）で目標達成率が99.1%だった。
令和4年度に減少したが、再び増加してしまった。
令和5年10月より、稼働台数が1台増加したことも当項目の増加に影響している。
不必要な使用を控えて今後も継続して総排水量の削減を行う。



6-4. 消耗品購入の削減

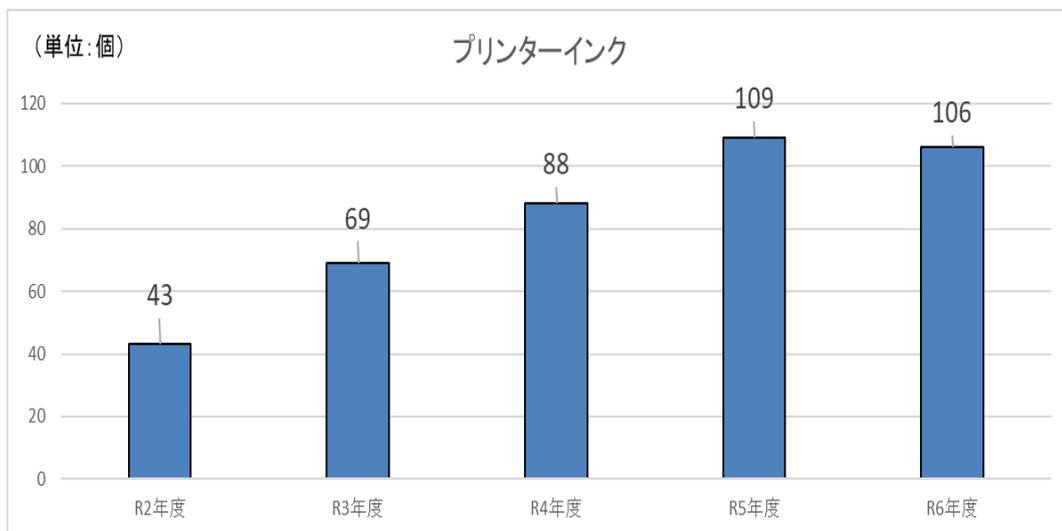
(1) コピー用紙

- ・購入枚数は76,500（目標値 81,675）で、目標達成率が106.7%だった。
再度、不必要な紙の使用を控えることを意識して、
今後も継続して削減を行う。



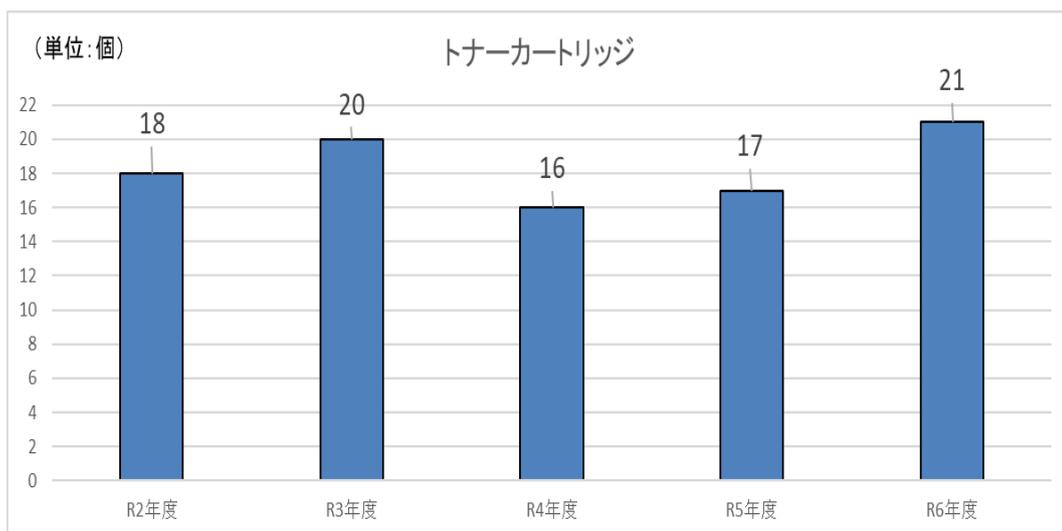
(2) プリンターインク

- ・購入個数は106（目標値 108）で、目標達成率が101.8%だった。
コピー用紙と同様に、 unnecessary消費を抑えるようにして、削減していきたい。



(3) トナーカートリッジ

- ・購入個数は21（目標値 17）で、目標達成率が80.9%だった。
粗大ごみの収集リストをコピーするコピー機がトナーカートリッジを使う為、
収集件数に左右されるが、 unnecessary消費は控えて、維持・削減に取り組む。

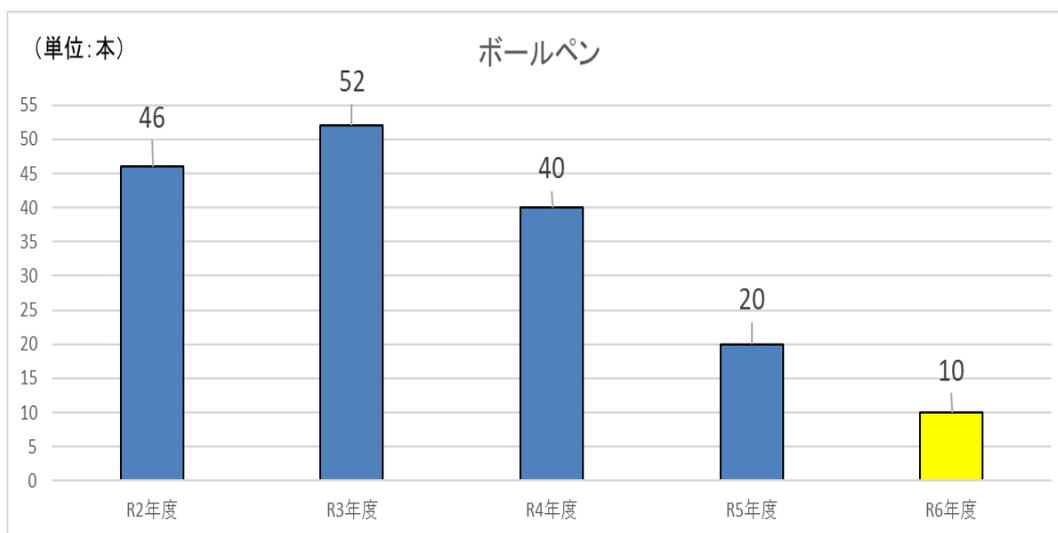


(4) ボールペン

- ・購入個数は10（目標値 19）で、目標達成率が190.0%だった。

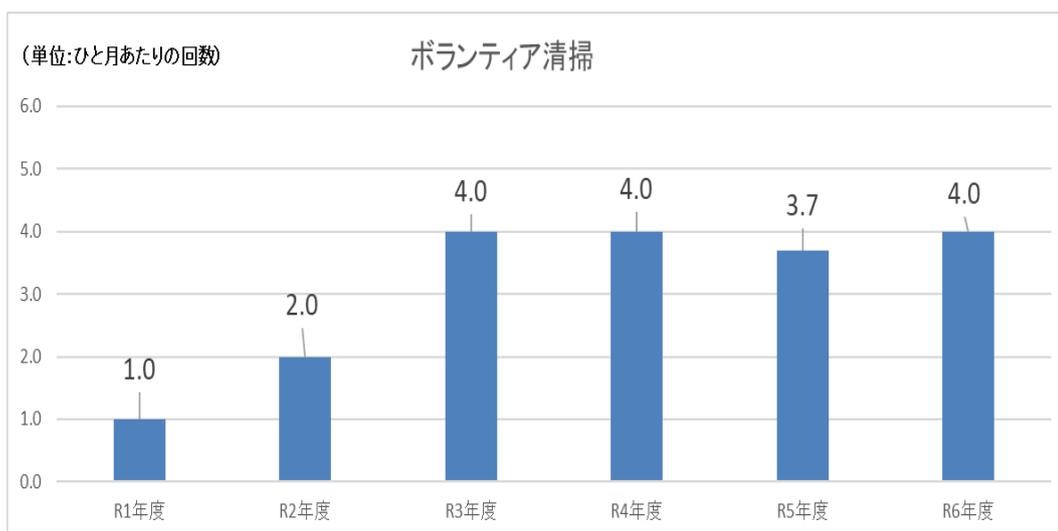
4期連続で減少している。

主に、各自が日々の運転日報等を記録する際に、ボールペンを使用するが、 unnecessary消費を控えて今後も維持・削減に取り組む。



6-5. 会社周辺の清掃

- ・皆で協力して、周辺地域の清掃に取り組むことが出来た（目標達成率100%）。



7. 次年度の取組内容

稼働台数・社員数・事業所の増加により、目標値設定及び削減が難しい状況が続いていたが、令和7年度は、令和6年度とほぼ同様の条件での業務が見込まれる為、令和6年度を基準にして削減に取り組んでいく。

8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

弊社の事業活動に適用されている環境関連法規等について遵守状況を確認した結果、創業(昭和43年11月)以来、過去52年間、違反や訴訟はありませんでした。

法律名称	遵守状況
廃棄物処理法（廃掃法）	◎
消防法	◎
フロン排出抑制法	◎

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

令和3年11月に事業所が1か所増えた事や、令和5年度下半期からの塵芥車稼働台数増加及び搬入工場の変更による走行距離の増加があった。

このような外的要因による各種数値の増加も見受けられるが、引き続き不必要な消費は控え、削減可能な部分はコツコツと削減する。

※毎年開催されている北九州市環境首都検定において、
合計4回（令和2年・3年・5年・6年）成績優秀賞をいただいております。



10. 優良産廃処理業者認定制度・情報公表項目

10-1 許可の内容

政令都市	許可名称	許可番号	許可の年月日	有効期限の年月日
北九州市	一般廃棄物収集運搬業	北九一廃 第 013 号	令和 6 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日
北九州市	産業廃棄物収集運搬業	第 7600011292 号	令和 6 年 11 月 28 日	令和 11 年 11 月 27 日

10-2 一般廃棄物・産業廃棄物の事業範囲

- ・一般廃棄物の事業範囲：A 類（ふん尿を除く一般廃棄物）
- ・産業廃棄物の事業範囲（18 品目）
 - ①燃え殻 ②汚泥 ③廃油 ④廃酸 ⑤廃アルカリ ⑥廃プラスチック類 ⑦紙くず
 - ⑧木くず ⑨繊維くず ⑩動植物性残さ ⑪動物系固形不要物 ⑫ゴムくず ⑬金属くず
 - ⑭ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器 ⑮鉱さい ⑯がれき類 ⑰家畜ふん尿 ⑱家畜の死体
- ・積み替え・許可の条件：一般・産業廃棄物共に積み替え保管施設はない。

10-3 運搬車両の種類と台数

- ・塵芥車 26 台
- ・ダンプ 4 台
- ・キャブオーバー 5 台

10-4 処理実績（受託した運搬量）

活動規模	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
売上高（百万円）	5 億円以下	5 億円以下	5 億円以下
一般廃棄物（t）	16,909	17,131	16,007
産業廃棄物（t）	1.52	1.31	1.24

10-5 処理料金

（その他の料金につきましては、廃棄物の内容及び搬入先により料金が異なりますので、お問い合わせ下さい。）

種類	単位	単価	処分先
一般廃棄物	1kg	10円	北九州市ごみ焼却場